

令和 7 年度

「運営に関する計画」



大阪市立南田辺小学校

令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和2年、3年、4年、5年度本校では、暴力行為は発生していない。いじめについては、普段から担任が児童の様子をよく観察し、初期段階で聞き取りや指導を行っていることで、継続のないいじめの事案は発生していない。また、いじめアンケートなどから発見されたいじめについても担任がしっかり聞き取りを行い解消している。今後も教職員全員で児童の様子をよく観察しいじめ防止に努めていく。さらに児童に「いじめはどんな理由があってもだめだ」という意識をしっかりと持たせることや自分を大切にすること（自尊感情）を育てていくことが大事だと考える。

阪神淡路大震災、東北の震災、熊本の地震など大きな自然災害が起きていることや南海トラフによる津波が予想されている中、児童には自然災害を自分のこととして意識できるようにしていくことで命を守る大切さを知らせていきたい。

本校児童の学力は高く、経年調査でもどの教科、学年でも概ね標準化得点が100を越えている。この高水準を維持していくことが今後の課題となる。そのためにも、子どもに合った指導法を工夫するとともに指導力の向上に努めていく必要がある。また、話し合い活動を授業に取り入れ主体的・対話的で深い学びに結び付けることもこれから生きる児童にとって大切な力として育てたい。また体力面では、全国体力・運動能力調査の結果、全国平均を超えるものは少ない。体力をつけることは今後の社会生活を送る上でも重要であると考え。そこで、運動することの楽しさを味わわせ、体育の学習の充実をはじめ、体育的行事や活動を取り入れること、普段の生活の中で体を動かす習慣を身に付けさせることで体力をつけていく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童を80%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査において前年度不登校児童の改善の割合を70%にする。
（不登校：不登校を理由として年間30日以上欠席した児童）
（令和3年度末：不登校 2人）
- 令和7年度の小学校経年調査における「学校の決まりを守っていますか」に対する肯定的な回答をする児童を90%以上にする。
- 令和7年度の小学校経年調査「自分には良いところがありますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について肯定的に答える児童を85%に近づける。
- 令和7年度の小学校経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較しいずれの学年も2ポイント向上させる。
（令和3年度国語 71.1 算数 71.1）
- 令和7年度の小学校経年調査における「理科の勉強が好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。（令和4年度 83.8%）
- 令和7年度の小学校経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。（令和3年度 74.1%）
- 令和7年度の小学校経年調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすること好きまたは増えた」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を60%に近づける。（令和3年度 55%）

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において児童の８割以上が学習用端末を活用した日数が年間の授業日数の１００％以上にする。（令和５年度４９．１パーセント）
- 教員の勤務時間の上限に関する基準１を満たす教職員の割合を７５パーセント以上にする。（基準１：７２％ 基準２：９８％）
- 学校図書館貸出冊数（児童１人当たりの年間貸出冊数）を３０冊以上にする。（大阪市独自調査または校内調査）
（令和５年度２９．１冊 大阪市平均３１．６冊）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校経年調査で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童を83%以上にする。
(令和6年度 82.2%)
- 令和7年度末の校内調査において前年度不登校児童の改善の割合を30%にする。
(改善…登校日数が増加、他機関との連携が進む、等の向上的状況変化が起こること)
- 令和7年度の小学校経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対する肯定的な回答をする児童を93%以上にする。(令和6年度 91.9%)
- 令和7年度の小学校経年調査「自分にはよいところがありますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を83%以上にする。(令和6年度 82.8%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通して考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について最も肯定的に回答する児童の割合を44%以上にする。
(令和6年度 38.4%)
- 令和7年度の小学校経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較しいずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。(1ポイント=0.01)
(令和6年度
国語3年0.935、4年1.090、5年1.024、算数3年0.876、4年1.082、5年1.069)
- 令和7年度の小学校経年調査における「理科の勉強が好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(令和6年度 81.5%)
- 令和7年度の小学校経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。(令和5年度 75.0%)
- 令和7年度の小学校経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きか」に対して最も肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。
(令和6年度 72.1%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の(学習端末月間活用率を元に)「授業日数において児童の8割以上が学習用端末を活用した日数」が年間90%以上にする。(令和6年度 89.8%)
 - 教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を54パーセント以上にする。
(令和6年度 基準1: 53.5%)
- 注)基準1: 時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下
基準2: 1年間の時間外勤務時間が720時間以下、時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下、時間外勤務時間が100時間を超える月数0、直近2~6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0、を全て満たす。
- 学校図書館貸出冊数(児童1人当たりの年間貸出冊数)を31冊以上にする。(大阪市独自調査または校内調査) (令和6年度 30冊)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市長 南田辺小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○令和7年度の小学校経年調査で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童を83%以上にする。(令和6年度 82.2%) ○令和7年度末の校内調査において前年度不登校児童の改善の割合を30%にする。(改善…登校日数が増加、他機関との連携が進む、等の向上的状況変化が起ること) ○令和7年度の小学校経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対する肯定的な回答をする児童を93%以上にする。(令和6年度 91.9%) ○令和7年度の小学校経年調査「自分にはよいところがありますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を83%以上にする。(令和6年度 82.8%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【1 安全・安心な教育環境の実現】 ・特別な教科道德の学習でいじめについて取り上げたり、いじめについて考える日に全校でいじめについて考えたり、機会あるごとにいじめについて考える機会をもち、いじめは絶対にダメなことであることを意識させる。	
指標 ・令和7年度の小学校経年調査または校内調査(3年生以上)で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童を83%以上にする。	
取組内容② 【1 安全・安心な教育環境の実現】 ・保護者やスクールカウンセラー・生活指導支援員などと協力して、不登校傾向の児童が登校できる日を増やす。 ・Teams で本人と・保護者をつなげる回数を増やす。教育支援センターに通うなど出席認定を増やす。(評価テストや宿題の提出などがある) ・遅刻・早退を繰り返す児童について声掛けをしたり保護者と相談したりして注意を払う。	
指標 ・令和7年度末の校内調査において前年度不登校児童の不登校の改善の割合を30%にする。(改善…登校日数が増加、他機関との連携が進む、等のよい状況変化が起ること)	
取組内容③ 【1 安全・安心な教育環境の実現】 ・児童朝会や朝の会で確認したり掲示したりし月目標を常に意識できるようにする。	
指標 ・「学校のきまりを守っていますか」に対する肯定的な回答をする児童を93%以上にする。(令和6年度 91.9%)	

<p>取組内容④【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>・終わりの会で友達の良いところや自分が頑張ったことを発表したりするなど学年・学級での取り組みをすることで、友達や自分の良いところを見つける取り組みをする。手紙などにしたものはためておき振り返ることができるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・令和7年度の小学校経年調査または校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を83%以上にする。 (令和6年度82.8%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立 南田辺小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和 7 年度の小学校経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通して考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について最も肯定的に回答する児童の割合を 44 % 以上にする。 (令和 6 年度 38.4 %)</p> <p>○令和 7 年度の小学校経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較しいずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。(1 ポイント=0.01)</p> <p>(令和 6 年度 国語 3 年 0.935、4 年 1.090、5 年 1.024、算数 3 年 0.876、4 年 1.082、5 年 1.069)</p> <p>○令和 7 年度の小学校経年調査における「理科の勉強が好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 82 % 以上にする。(令和 6 年度 81.5 %)</p> <p>○令和 7 年度の小学校経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 76 % 以上にする。(令和 5 年度 75.0 %)</p> <p>○令和 7 年度の小学校経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きか」に対して最も肯定的に回答する児童の割合を 73 % 以上にする。</p> <p>(令和 6 年度 72.1 %)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>・どの学習でも話し合い活動を大切にし、自分の考えや意見を持ち話し合いを通して課題を解決できるよう、毎日 ICT を活用するなど指導方法を工夫する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・令和 7 年度の経年調査または校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通して考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について最も肯定的に答える児童の割合を 44 % 以上にする。</p>	
<p>取組内容②【2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>・計算や漢字、視写、辞書引きなど基本的な繰り返し学習を ICT を活用したりし、15 分の(ぐんぐんタイム)で行う。国語、算数以外での取り組みも取り入れる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・令和 7 年度小学校経年調査または校内調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較しいずれの学年も 1 ポイント向上させる。(1 ポイント=0.01)</p> <p>(令和 6 年度 国語 3 年 0.935、4 年 1.090、5 年 1.024、算数 3 年 0.876、4 年 1.082、5 年 1.069)</p>	

<p>取組内容③【2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や花壇やビオトープを活用した観察など体験的活動を取り入れ、自分で発見することで理科学習の楽しさを味わわせる。また、ミニプリントなどで学習の定着を図るようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の小学校経年調査または校内調査における「理科の勉強が好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。（令和6年度81.5%） 	
<p>取組内容④【2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイティブスピーカーの英語外部講師を招き、3.4年生の外国語活動の指導を進める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の小学校経年調査または校内調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。 	
<p>取組内容⑤【2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の学習で活動時間を確保し、運動の楽しさを味わわせる。 ・学級遊びなどの外遊びの機会を作り、体を動かすことを日常化する。 ・夏季休業から11月にかけての運動場整備工事期間の活動を工夫する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の小学校経年調査または校内調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きだ」の項目について、肯定的に答える児童の割合を73%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立 南田辺小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小・中学校) ○令和 7 年度末の「授業日において児童の 8 割以上が学習用端末を活用した日数を年間 9 0 %にする。(令和 6 年度 8 9 . 8 %) ○教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 5 4 パーセント以上にする。(令和 6 年度 基準 1 : 5 3 . 5 %) 注)基準 1 : 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下 基準 2 : 1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0、直近 2～6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0、を全て満たす。 ○学校図書館貸出冊数(児童 1 人当たりの年間貸出冊数) 3 1 冊以上にする。(校内独自調査) (令和 6 年度 3 0 冊)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【 3 学びを支える教育環境の充実】 ・ 1 日 1 度は授業の中で学習用端末を活用するよう授業を工夫する。 ・ 心の天気や連絡帳など授業以外でも学習用端末を利用する。 ----- 指標 令和 7 年度末の「授業日において児童の 8 割以上が学習用端末を活用した日数を年間 9 0 %にする。(令和 6 年度 8 9 . 8 %) -----	
取組内容② 【 3 学びを支える教育環境の充実】 ・ ゆとりの日を設定する。閉庁日を設ける。始業式終業式の前倒しをするなど実施する。また、一人一人が勤務時間を意識できるように教員の時間外勤務時間の状況を毎月 SKIP の掲示板に掲載する。セットキーの運用を変更する。 ----- 指標 ・ 教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 5 4 パーセント以上にする。(令和 6 年度 基準 1 : 5 3 . 5 %) -----	
取組内容③ 【 3 学びを支える教育環境の充実】 ・ 学級の図書の時間以外に図書委員会の活動や学校図書館司書、図書館ボランティアなどによる図書館の開館時間を増やし貸出冊数を増やす。(令和 6 年度 3 0 冊) ----- 指標 ・ 学校図書館貸出冊数(児童 1 人当たりの年間貸出冊数) 3 1 冊以上にする。(校内独自調査) (令和 6 年度 3 0 冊)	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

令和 7 年度

「運営に関する計画」

添付資料



大阪市立南田辺小学校

令和 7 年 4 月